

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（５５）」

2. 日時：令和４年９月２６日（月）１３時３０分～１４時４５分

3. 場所：原子力規制庁 １０階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

志間安全規制管理官、菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、直井
安全審査専門職、森田安全審査専門職

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他１０名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成２７年７月１６日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法

令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis-closure/law/WAS/00000170.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和4年9月20日）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、原子力規制庁のスゴウです。それではただいまより平成 27 年の 7 月に申請のありました日本原子力発電株式会社の、
0:00:12	東海トレンチ処分の事業許可申請に係るヒアリングを始めたいと思います。
0:00:20	まず原子力規制庁からの出席者を紹介いたします。
0:00:25	研究炉等審査部門より安全規制管理官のシマオオツカモリタナオイスゴウ、それから技術基盤グループの放射線廃棄物研究部門から山田が出席しております。
0:00:40	日本原電から出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:48	現在のハママツです。原電側の出席者ですけれども、廃止措置プロジェクト推進室から野口室長代理、講師グループマネージャー、
0:00:59	あとイマツノムラタナカコウチタケゴシ、佐久間。
0:01:05	あと、あとハママツです。開発計画室からフジワラ、あと東海発電所の廃止措置室からオニザワの計 11 名になります。以上です。
0:01:17	はい。規制庁のスゴウですありがとうございます。それでは早速資料ですね 9 月 20 日付で、
0:01:26	提出いただいておりますので、

0:01:29	基本的には我々これ括弧に確認して、コメントを用意してますので、
0:01:38	お伝えするということにしたいなと思いますが、
0:01:42	ここは何か原電側から説明しておったりとかあればお願いいたしますが、いかがですか。
0:01:52	日本原子力発電のコアシです。お時間いただきましてありがとうございます。今回修正の全般的なところを言いますと、直したところは黄色いハッチングで示しております。あと、
0:02:03	スライドを追加したようなところは、タイトルにスライドを黄色くハッチングして、コメントあったところも修正しておりますし、若干こう表現でおかしなところがあったというところも修正して、それは黄色いハッチングで示しております。
0:02:17	内容については事前に確認いただいているものでコメントをお願いします。
0:02:22	以上です。はい。ありがとうございます。規制庁のスゴウです。ちょっと早速コメント伝えていきたいと思います。また資料1からなんですけれども、
0:02:31	ちょっと前回のですねヒアリングで、
0:02:37	私の方からですね、何ページかな。

0:02:42	そう。
0:02:44	18 ページとかその埋設地の設計のところ、
0:02:53	その範囲は、
0:02:56	廃棄物の受け入れの開始から、
0:02:59	その廃止措置の開始までの、ろう放射性物質のロスを低減する機能を有するものということが要求とされているので、
0:03:10	ここ
0:03:13	受け入れて埋設するときと、それから最終覆土を施工してる間の、
0:03:24	低減措置についても、ちょっとここ、ここの資料 1 では概要でいいんでと、資料 2 の方でもう少し詳細に説明をお願いしますということでお願いしたと思ってまして。
0:03:38	資料 2-1 の方の、
0:03:42	参考でですかね、最後、加えていただいているのは、
0:03:48	と承知してるんですけども、
0:03:50	もともとその事業許可基準規則で求められてるってということプラスですね。
0:04:00	登録法の
0:04:02	51 条の 2 の第 3 項 4 号で申請書の記載。

0:04:07	を要求してる内で廃棄の方法っていうのがあって、
0:04:12	これにシマ事業規則でそこを受けて、
0:04:16	埋設の方法の概要ですとか、
0:04:19	埋設の手順を示す真子これは工程図なんですけどを記載するように要求 しているっていうのがありますので、
0:04:27	少なくともちょっと位置付けとして、ここ3項ではなくてですね、しっ かりと中で、
0:04:35	記載して欲しい。
0:04:37	ていうのが一つです。
0:04:39	江藤。ちょっと
0:04:42	もう一度まとめると、資料1の方についてはその概要、
0:04:46	資料2-1の方はその詳細を、
0:04:49	受け入れの会社廃措置までの間のロス低減防止措置、
0:04:55	具体的な埋設するときと、
0:04:58	最終覆土を施工するときの、
0:05:03	措置も追加をして欲しいというのが、
0:05:07	一つと。
0:05:10	ちょっと続けると、これも前回のヒアリングで、

0:05:13	お願いをしてるのが、
0:05:15	その漏出低減措置との関係で、
0:05:20	そのうち安全機能を有するものは何しますかっていうのを、
0:05:25	今回で言えばその6ページですね、のところで、
0:05:32	どういう考え方を持って、
0:05:34	そのうち、安全機能を有する施設には、これを円筒にするっていうの を、
0:05:39	考え方と結果も追記してくださいっていうことを、
0:05:44	ちょっとお願いしていると思うんで。
0:05:47	それが今回、
0:05:49	ちょっと記載がなかったんで、
0:05:52	引き続きというか、記載をお願いしたいんですが、よろしいでしょう か。
0:06:00	はい。日本原子力発電のコアシです。
0:06:03	すいませんなかなかコメントの趣旨を深く理解できていなくて、今回の 修正が不十分であったと少し反省するところでもあります。言われたところ としましては、まず廃棄物経営から、

0:06:15	最終覆土完了してその後まで農地低減機能について、目標の中で廃棄の方法というのがある、そういったものをしっかり守れているということ、
0:06:28	記載に沿って整理して欲しいということ、コメントされたのかなと今、確認しました。あと、そうですね。6ページのところも、そういった意味で、それぞれの安全機能の考え方、
0:06:42	そういうところまでを、もう少し記載して欲しいということをおっしゃられたのかなと思います。
0:06:49	そうですね。ええ。
0:06:52	ちょっと
0:06:53	どういったイメージかというのは、すぐには、
0:06:58	部会としては出ないんですけど、
0:07:00	この内容、コメントされたところについては承知しました。反映したいと思います。
0:07:07	規制庁のスゴウです安全機能を有する施設を何にするかっていうのは、例えば例えばなんですけど、
0:07:18	考え方として恒久的な施設、
0:07:22	施設、

0:07:24	そういう意味では遮水シートは恒久的じゃないんですけど、
0:07:27	なのとか、作業中だけにしか求めるものじゃないとか、何かいろいろあると思うんですけども、
0:07:35	なので、ちょっと、
0:07:39	こういう考え方で、
0:07:42	最終的には、
0:07:44	6ページの赤文字になってるものを、安全機能を有する施設にしますと。
0:07:51	いうことをちょっと、聞き入れてもらえればなと思いますのでよろしく お願いします。
0:08:00	越冬
0:08:03	次に本日の講師です。
0:08:06	コメント拝承で承知しました。ちょっと
0:08:09	また確認、具体的にどういうところがもし、
0:08:15	迷うようなところがあったら、もしかしたら少し確認させていただくところがあるかもしれませんコメントとりあえず続けていただければと思います。規制庁のすごい承知します。
0:08:25	今、

0:08:27	教えて。はい。規制庁の大塚です。えっとですね 20 ページの、
0:08:33	ところなんですけれども、前回のヒアリングを受けて記載を追記していただいた内容についてはよくわかりますが、
0:08:43	ちょっと記載ぶり、の問題だと思うんですけれども、
0:08:48	供給規則の要求事項の方が左側に書いてあるんですけれども、す。
0:08:54	この左側ですね要求事項の記載ぶりと右側の、その適合性の記載ぶりが必ずしも一対一で合っていないくて、特に要求事項である、プランについてその放射能ベクレル単位で表した数値を、当該放射性廃棄物、人工バリア土砂その他の廃棄物埋設地に埋設し、
0:09:14	または定置するものの、重量トン単位で表した数値で除して得体値が 1 を超えずっていうところがあると思うんですけれども、それに対してその右側の適合性ってところで書いてある内容が必ずしもこういった位置で合っていないなという、要は、行間を読まないと、
0:09:30	読み解けない記載になってるので、ここはその要求事項に対してちゃんと一対一で対応してますよってのがわかるようにちょっと記載を見直していただきたいと思うんですけれどもお願いできますでしょうか。
0:09:45	日本原子力発電の小橋です。コメントありがとうございます今言われたところというのは、例えば人工バリアとか土砂とかを含めた濃度ではな

	<p>くて例えば、私が今回弊社で記載させていただいた濃度ですと、これ現 廃棄物の濃度そのままなので、</p>
0:10:00	<p>そういったことが少しわかるようにということを、右側の要件に合わせ て直すというところと、やっぱりあれですね最後の 10、10M B q t のと ころは、</p>
0:10:12	<p>これはちょっと後、要求事項であってないよということを言われたって いうことで理解してよろしいでしょうか。要求事項なってないというよ りはこの要求事項に書いてあるものを、この右側適合性の記載ぶりだ と</p>
0:10:25	<p>行間を読まないで認めないってことですね要はこちらの解釈を入れない と。</p>
0:10:29	<p>読み解けなくなっているので、要求事項に対してその右側を読めば一對 一で対応してるのがわかるようにして欲しいということです。</p>
0:10:38	<p>日本原子力発電の小橋ですコメント承知しました。少し右側の要求と適 合性の内容は、比べてもすぐわかるように評価を読まなくてもいいよう に、はっきり記載するように修正いたしますはい。よろしくお願いま す。</p>
0:10:53	<p>規制庁の宗です。今の、</p>

0:10:57	県なんですけれども、
0:10:58	要は、U234235238 の、
0:11:04	その総放射エネルギーをまずMBq単位で、これって書いてもらって、
0:11:11	次2を、
0:11:15	放射線廃棄物人工バリア土砂、その他の埋設、
0:11:19	地に埋設し、また設置するものの重量トン単位でっていうことなんで、 これらトン何トンあるのかって書いてもらえれば、
0:11:30	数値で除した結果が1を超えてませんっていうのをもうストレートにちょっと表現して欲しいんですけど。
0:11:38	よろしいですか。
0:11:41	日本原子力発電の小橋です。承知しました。ちょっと今回
0:11:45	すでにお出ししている審査資料2、
0:11:48	追求しなければならないというところもあるので、山城、後はそちらの方も、機器要求事項と比べて今言ったように総放射エネルギーをまず示して、重量を示して、終わって1を超えないということが明確になるように、
0:12:03	修正させていただければと思うんですけど、今回はまずはこの資料について、そういったことがわかるように修正したいと思います。調子ました、規制庁ますのでよろしくお願いします。

0:12:14	それからですね同じページなんですけれども、
0:12:19	適合性の方で、また以降のところ、結論がその 1×10^7 乗ベクレルパー トンを十分に下回るものであり概ね均一であるっていう。
0:12:32	こともこの均一の話なんですけれども、
0:12:35	すいません、ちょっとお願いなんですけど要求事項のところだけ見ると その、
0:12:41	衛藤。
0:12:42	均一の話がな、書いてなくて、要は解釈の方で、 10×10^{10} MBq。
0:12:54	↑って書いてあるかなとかっちゃうのが書いてあると思うんで、ちょっ とそこを記載してもらわないと何かえと均一なんでこれ均一っていうの ってなっちゃうんで。
0:13:06	資料2、解釈もちょっと入れてもらうことができますか。
0:13:12	日本原子力発電の小橋です。承知しました。確かに解釈の記載がない と、右と左で繋がらないのかなと思います。解釈も延期させていただきます。
0:13:23	規制庁の宗です。その際にですね、
0:13:25	解釈に、

0:13:27	多分廃棄物埋設地内を体積が同程度である複数の区域に区分した場合に そのいずれにおいても、
0:13:36	均一であることというふうに書いてあるんですけども、
0:13:41	それに対する考え方も、
0:13:46	被災して欲しくて、おそらくや勝手なこっちの相談ですけど多分 α の核 種で最大4目、 4×10^{-6} 乗ベクレルパートンなんで、
0:13:58	10MBqパートンをそもそもそのどこ切ってもなんていうのは、そこま で考えなくていいのかなと思ってるんで、
0:14:06	何かちょっとその理由を、
0:14:09	と記載してもらいたいと思うんですけどいいですか。
0:14:14	日本原子力発電の小橋です。そうですね金属とコンクリートでまず濃度 の分布が違うと思うので、そこ分けて記載しますし、金属においても、
0:14:26	概ね均一であるというのは、濃度に見れば今言われたように1名ぐ らい、1MBq等を超えないというところと、基本的には汚染の、
0:14:38	放射性物質ですので、均一であるという説明を入れるのかなと今思いま した。そういった方向で直したいと思います。
0:14:48	規制庁のスゴウではいよろしく申し上げます。
0:14:54	ちなみになんですけど先ほどの

0:14:59	除した値が1を超えるっていうのに、
0:15:02	対応してもらおうと今回の20ページの適合性の
0:15:07	1段ラック目の
0:15:10	す最大は平均からふた桁以内であるとかっていうのがあるんですけどこ こら辺の記載が変わるっていうことで理解しておいていいですかね
0:15:20	ちょっとここが何を言いたいのかが若干わかんなかったんで、こんな気
0:15:25	こと聞いているんですけども。
0:15:28	日本原子炉風のコアシです。実はですねこの記載は今すでに提出させて いただいている審査資料で全体の廃棄物の濃度から見れば、蓋桁以内1と いうことなんですけど、
0:15:40	少し今あったコメントを踏まえると、当然のことが2人形態以内にはお さまるんですけど、
0:15:49	この記載をそのまま使うのかももう少し
0:15:53	データを調べて、
0:15:55	修正するのかわかるのは考えたいと思います。ここが変わって3桁とか 4桁になるという話ではないんです。
0:16:01	うん。
0:16:04	それはこれはこれでいいのかな。

0:16:06	今の発生とか、
0:16:11	とそれから、
0:16:15	何か、
0:16:17	規制庁の島です。同じく 20 ページの資料の、
0:16:23	第十三 - 1 の表。
0:16:27	誤差の濃度が書かれてるんですけども、これは平均なのか最大なのかわからないので、それを明確化。
0:16:35	どっちかを明確化してもらえますでしょうか。
0:16:41	日本原子力発電のコアシです。これは推定の濃度評価になりますので計算でやってるもので、平均になります。そのように明確に記載するよういたします。
0:16:52	はい。お願いします。
0:16:53	あと同じく 20 ページの説明で、こちら 13 条第 1 項第 3 号の抵抗の説明をされているんですけども、
0:17:04	その前、
0:17:06	この説明を読む限り、廃棄物の全 α の最大放射能濃度が、 4×10^{-6} 乗めくるパートン。
0:17:16	と徹底しているので

0:17:20	13条の第1項第3もII Tをしていると。
0:17:23	いう説明になっていると読めるんですけども、では全 α の最大放射能濃度というのを、WACとして設定するかどうかというのを教えてもらえますでしょうか。
0:17:39	日本原子力発電のコアシです。ですね、WACとして設定するかどうかまでは、
0:17:46	そうですね。当然浦野としては非常に低いもので、
0:17:53	全 α という形で、重要核種としても選定して、再確認というのは行っていくんですけど、
0:18:00	今言われているのは、ウラン濃度一つ一つの、
0:18:04	廃棄確認する考えかどうかという、
0:18:07	以下よろしいんでしょうか。いえ、違います 20 ページの説明が。要は、 α で廃棄物の全 α の放射最大放射能濃度が 4×10 のマイナス。
0:18:20	Jの6乗ベクレルパートンというふうに設定するというふうに言っているので、数廃棄物としてはそれ位、全 α は、
0:18:30	それ以下のものしか入らないんですと、だから13条第1項第3号っていうのは満たされるんですという説明だと、
0:18:42	理解しています。であれば

0:18:45	廃棄物の
0:18:50	受入基準として、全 α の廃棄物の最大放射能濃度は 4×10 、
0:19:00	-6 乗ベクレルパートンというものが、
0:19:04	設定されてしかるべきですよ、という考えに至ってるんですけど。
0:19:09	そういう理解でよろしいですかということです。
0:19:13	日本原子力発電の小橋です。この最大放射能濃度は、
0:19:18	申請放射能量として設定をしていますし、当然のことながら、この濃度を超えない廃棄物を埋設するという管理を行っていますので、
0:19:27	それ、その理解で間違いありません。
0:19:30	わかりました。
0:19:34	はい。規制庁のスゴウです。
0:19:37	シート1で他にコメントありますか。
0:19:42	よろしいですか。
0:19:44	はい。資料1は以上になりまして、続いて資料2-1にちょっと移りたいと思います。
0:19:53	そうですね。
0:19:56	資料2の一井、ちょっと先ほど申し上げた通り参考を書いてある。
0:20:02	この、

0:20:06	漏出低減防止の話は、参考じゃなくて、本文の方にしてくださいっていうのが一つと。
0:20:14	今回 28 ページ以降ですね、
0:20:20	吹き出しがついてて、
0:20:22	以下に示す事項については対応中として、
0:20:26	三つ 3. ポツがあるんですけども、
0:20:30	ちょっと以前、これーは次回の審査会合との関係ってどうするんですかっていう話を、
0:20:39	ちょっとメールベースでお聞きしたところを、三つ目のところ以外は、
0:20:47	できれば今回の審査会合で示したいっていうお話だったんですが、ちょっと我々の中で検討をしてですね、
0:20:57	これ三つちょっと一緒に出してもらわないと、今、何か二つだけで、上の二つだけ出されてもちょっと中途半端で、
0:21:06	結局、
0:21:09	三ついっぺんに出してもらないと確認できないなっていう話になってですね。
0:21:14	三つ目が次回、自治会かの審査会合 2。
0:21:19	なるっていうことであれば、今回はちょっと、

0:21:23	検討してるっていうことを、
0:21:27	検討してるっていか対応してるっていうことを、
0:21:30	資料2、こういう吹き出しの形になるのかちょっとわかんないんですけど。
0:21:36	審査会合の明示しつつですね、衛藤次回以降でしっかりと我々も確認させてもらえたらなあと思ってるんですが、
0:21:46	これについていかがでしょうか。
0:21:58	日本原子力発電のコアシです。そうですね三つ目の情報で、特に今すぐにお出しできないなと思うのは、いくつかあってこれ、
0:22:10	品証上の確認とかそういった手続きを踏まえると少し遅れてしまうというのもあるんで、
0:22:17	できれば一つ目と二つ目はしっかり提示させていただいて、それを説明して、のちのち解析結果の補足情報のところも見ていただくのが良いのかなと思っていたんですけど、
0:22:30	そういったことであれば、まとめたの外にということであればまとめて対応したいと思います。で、吹き出しのところはそういった意味で言いますと、このまんまで今、

0:22:41	この現状とこの情報を提示するために検討しているというふうにするのか、
0:22:48	ただ、今言われたように検討中のような方がいいのか、それはどちらがよろしいんでしょうか。
0:22:54	規制庁のスゴウですどちらでもこっちは別に構わないです。要はここ対応してて今回の審査会合じゃなくて次回以降に、
0:23:08	示すんだよっていうところがわかれば、全然構いませんので、
0:23:13	書き方はお任せいたします。
0:23:17	日本原子力発電のコアシですそうしますと、次回以降の審査会合で提示予定というふうにして、今、今書いているような情報というのはそのままにしたいと思います。
0:23:29	規制庁の坪井です。それで全然構わないです。
0:23:34	はい。
0:23:35	承知しました。はい。
0:23:37	それから、規制庁のすごいそれから、ちょっとこれ確認なんですけども、11 ページ。
0:23:44	吹き出してここも見直し中ってなってるのは、
0:23:50	これはあれですかね、掘削抵抗性層を見直し中なのか。

0:23:56	<p>この表の全体が見直し中なのちょっとよくわかんなかったんですけど</p> <p>これはどういう意味かちょっと教えてもらっていいですか。</p>
0:24:05	<p>日本原子力発電の鬼沢です。</p>
0:24:08	<p>前回掘削抵抗性等について、常務の方の報告の方から、機能等が流れ込むんじゃないかといった安定性に関してコメントをいただいております</p> <p>ので、</p>
0:24:20	<p>現在されているわけで、コメントいただきましたコメントを踏まえて、</p> <p>策定工程として、ちょっと見直しをかけたいと考えておりました、この部分のみ見直しをしている状況でございます。以上です。</p>
0:24:36	<p>すいません規制庁の盛田です。</p>
0:24:39	<p>衛藤イメージとしては、前回のヒアリングで、ここにお話しさせていただいたようにこの相当、掘削抵抗層との間に、このフィルターのようなものを、</p>
0:24:50	<p>ハママツというようなお話があったかと思いますが、それから、そのような等が追加されるようなイメージでよろしいでしょうか。</p>
0:25:01	<p>日本原子力発電の鬼沢です。前回ご説明させていただいた際は、そのようにご説明させていただいております。</p>

0:25:09	ただ、全体を考えたときに、どういった形状ラインの形態がいいのかっていうものを踏まえまして、今、検討中でございますので、
0:25:20	ちょっと違う形になるかもしれません。以上です。
0:25:24	規制庁の盛田です。承知いたしました。下はプレイヤーの前回お聞きしたところはまずリセットして、改めてどういう形になるかっていうところをまたご説明いただくということで、承知いたしました。
0:25:41	規制庁のスゴウです。今あれですかね次回の審査会合では、ここの表記はどうされますか何か。
0:25:53	見直し中であればもう少し
0:25:56	今お話いただいた内容をちょっと変えてもらわないと何、何を見直そうとしてるのがちょっとよくわからないんで、
0:26:04	等も、もう少し、
0:26:07	説明を、
0:26:09	補足してもらいたいなと思うんですけども。
0:26:15	日本原子炉買って納入は別。
0:26:17	経営者としましては次回に可能な限り読み合わせたいと考えております。ただ、うちの方のチェックとありますので、

0:26:30	その場合は、何について皆おしいを行っているかということを示明させていたきたいと思ひます。以上です。
0:26:39	規制庁のスゴウです。はい。
0:26:42	よろしくお願ひします。
0:26:47	規制庁の大塚です。えーとですね 23 ページ新しく追加いただいた環境技術による損傷の防止のところなんですけれども、
0:26:55	衛藤。
0:26:56	今回追記いただいたところだと、衛藤想定する化学物質としてコンクリートと水の接触によって進出してきたものを想定してるといふことなんですけれども、
0:27:08	これ、今回その金属は金属で埋める、コンクリートコンクリートで埋めるという想定だと思ひんですが、金属側から出てくるもので、廃棄物埋設、
0:27:18	安全機能に影響を及ぼすものってのはないということでしょうか。
0:27:27	日本原子力発電。
0:27:29	このところについては、藤公園以降の安全評価の部分で状態設定の部分について検討してるんですけども、

0:27:41	この中で、廃棄物の埋設するとした金属については、特に安全機能に影響を与えるようなものはないというふうに評価しております。
0:27:52	以上です。はいありがとうございます。念のための確認なんですけれども、衛藤、今回の申請のある、今回埋設対象とする廃棄物の一つの特徴として塩素 36 を多量に含んでいて、
0:28:06	金属の方にその S というのは桁で多く入ってるという評価だと思うんですけども、衛藤層、そうしたときに塩素ノセ塩素の化学種ですねケミカル P C 図。
0:28:17	として、何かその影響があるような形で入ってるものはないということでしょうか。そういった分析はされてますでしょうか。
0:28:28	日本原子力発電のコアシです。黒須 36 を放射エネルギーにして、非常に多いというのはそうなんですけど、核種として考えたときには実は、もう、
0:28:38	そうではないんですけど、
0:28:42	腐食の観点ですよね例えば操業も存在するという点から見てもそう多くはないと思ってますし、まず影響事象分析の中では、まず、フォワード上でやって、
0:28:55	色網を総進行しないということを評価してますので、

0:29:00	塩素イオンが存在しても博士としてはどういった形態ができるのかという ことを、もあるかもしれませんが影響は少ないと考えております。
0:29:10	わかりました確かに1掛け10の10乗ベクレルなので、ざっくり計算 で、1号炉もないぐらいだと思うんですけども。うん。
0:29:20	そうすると、一応その影響事象分析のところで詳細にやってるという ことでありましたら、その評価のところで再度確認させていただき たいと思います。
0:29:29	日本減少型のコアシ承知しました。そこで少し議論させていただければ と思います。
0:29:37	規制庁のスゴウです。ぽかー資料2の一井で、コメントありますでしょ うか。
0:29:45	よろしいですか。
0:29:48	はい。
0:29:49	ではですね、続いて資料2-2の方に移りたいと思います。
0:29:58	すいません。規制庁の盛田です。
0:30:04	等ですね、少しかぶるところもあるんですけども、幾つか確認してい う形にはなるんですけども、

0:30:11	資料 2-2 の中でも見直し中というふうな形で同じように、39 ページのところで、第 6 表が見直し中とされておりますけれども、
0:30:21	こちらについてはフィルターとするかは受けては受けけれども新たにどう いう対策をするかっていうところが件追加されるというところで、
0:30:31	問題その認識でよろしいでしょう。こちらについても同様に修正される ということよろしいでしょうか。
0:30:40	日本原子力発電の鬼沢です。基本的に 2 の資料 2-1 と 252 の資料は、 にしておりますので。はい。時の一応のであれば、2-2 の資料も同じよ うに直させていただきたいと考えております。
0:30:55	以上です。はい、規制庁のモリタで承知いたしました。
0:30:58	おそらく疼痛係数のところをですね添付資料 2 のところのですね透水係 数の設定根拠であったりとか鉱毒への設定パラメーターに関係情報であ ったりとかっていうところが、
0:31:12	同様に追記されるにさせていただいて、次回以降に、次回ですね、理事会 の医師会合のところで、しっかり議論させていただく形になるかと思 います。
0:31:22	衛藤移転のすぐ確認なんですけれども添付資料 3 のところローです ね、

0:31:30	ベントライ等の
0:31:34	その花粉密度等透水係数に関する情報試験結果の情報を話していたんですけれども、こちらの透水試験の照査どのような試験をしたかについて、
0:31:46	もう少し情報いただきたいというところをお伝えしたかと思うんですけれども。
0:31:52	こちらについても、別途また追記されるという意味では特に記載はなかったんですけれども追記いただけるということでしょうか。
0:32:01	日本原子力発電の飯田です。
0:32:04	前回ご指摘いただいた点は、11条3の5ページ、津野さんのグラフ。
0:32:13	これについては、
0:32:18	ダイエーのページですね、前のページ、添付3-4のところの1.2ポツの後段の文章ですね。
0:32:29	そういうところで、どう生かして、試験をやったかということとか、させていただきます。
0:32:36	12、2段落目の3行目ですかね、試験については、地盤工学会の基準の方も基づいて造成試験をやったということで、

0:32:47	記載しても、前回のご説明の中では、質問しておりましたので、特に資料等については、直させていただいておりません。質問いただいた事実としてはこのような形でよろしかったでしょうか。
0:33:00	院長規制庁の盛田です。ご説明ありがとうございます。えっとですね、こちらについてがですねこの統制してんの、情報というところなんですけれども、
0:33:12	実の規制、規制であったりとかっていうところではですね基本的に市野マイナス9乗程度のところまでしか見られておらずですね、今回地盤工学会の標準に沿ってやられたっていうところなんですけれども、
0:33:26	この試験というところがですね、かなり医療の水分の測定を行うようなものになっていまして、かなり
0:33:33	慎重な試験が必要な形になるのではないかというふうには考えておりました、実際今回試験としてやった時にどのような形でやったかっていうところを、
0:33:44	お聞きしたかったところにはなるんですけれども、そのような実際にどういうふうな試験、室内実験をやったかっていうところについて、もう少し情報をいただきたいというのがこちらの意図なんですけれども。

0:33:56	<p>そういうところをしっかりと確認しておかないと少し学会の基準に沿って やったというところでも実際にやったときに、</p>
0:34:06	<p>情報の不確かさというところがどれぐらいあるかっていうところも踏ま えてですね、実際どういうことをやったかっていうところを確認したい ところというのがこちらのことになります。</p>
0:34:20	<p>日本減少活動にご説明ありがとうございます。</p>
0:34:24	<p>基本的には試験方法、試験内容については、地盤工学会の方の基準に基 づいて実施させていただいておりますので、</p>
0:34:35	<p>ご説明いただく試験内容等についてはこの内容の電気ではないですけ ど、このような内容を伝えている形になってしまうかと思っております。</p>
0:34:47	<p>今懸念されております。ばらつきとか、その辺についてもうちょっと知 りたいというような、以降ということで、</p>
0:35:02	<p>釣果以上です。</p>
0:35:08	<p>規制庁盛田です。実際、その工学会の基準ともう本当に全く同じような 形でやられてるという、そのような認識を</p>
0:35:20	<p>試験、島弧兆候学会の基準のまま、今おっしゃったように適になる全く 同じことをやられたというのはそれは間違いないということでよろしい でしょうか。</p>

0:35:33	日本原子力発電の鬼沢です。基本的にはつまり、
0:35:39	この該当データ試験データの記録を手元に持っていないので、
0:35:47	断言はできませんが、基本的にこの地盤工学会の方の基準に基づいて実施しておりますので、弊社としてはこれに基づいて、試験を実施したと、いうふうに考えており、
0:36:00	以上です。
0:36:02	規制庁の山田です。もう少し正しい情報が欲しいなと思っておるんですが、友田千野は、ジョン会で検討している経緯等を我々も、
0:36:14	それじゃけておるんですが、我々の理解では、本件、誰がやってもちゃんと同じ結果が出るっていうふうに整備されているわけではなくて、
0:36:27	実にはできなかったんですね。
0:36:31	当初実数にしようとしたんだけど、あの時に相当するところまで辿り着けないということで、相当これ気をつけて、水分の蒸発であるとか
0:36:44	コントロールしてやらないといけない試験である、かつ、次は10乗以下の
0:36:52	いいかってことは、11条のオーダーの統制係数を図られようとするということであるとですね、

0:37:02	相当気をつけるポイントが難点もありますので、そういったところがどうされているのかということ、明らかにしていただきたいという趣旨 でござい。
0:37:27	日本原子力発電の小橋です
0:37:30	今山田さんからいただいたコメントで、幾つか注意すべき点があるとい うのは、
0:37:36	少し確認したいと思いますそういった学会標準にもそういった注意事項 があって、そこを見ながら、必要な情報を提示して欲しいと言われたと 理解してよろしいでしょうか。それとも、
0:37:48	気をつけなければならない点というのが、
0:37:53	どこにもなくて、今山田さんのイメージの中で何か持っておられるとい うことなんでしょうか。具体的に
0:38:01	どういったものを提示すればいいのかをご教示いただけると非常に我々 もスムーズに対応ができるのかなと思っています。すいません。もう少 し
0:38:12	情報をいただけると助かります。

0:38:15	学会標準の制定の過程で相当議論をされているのでその議論が、解説の中にも書いてあったんじゃないかと思imasので、まずそれを見られるのがいいかと思imas。
0:38:31	ちょっと日本原子力発電のコアシです。ありがとうございます。そこで主事の方、確認して、出せる情報というのを確認して、
0:38:41	対応したいと思imas。
0:38:43	よろしくお願いたします。
0:38:45	規制庁盛田です。今の点につきましてヤマダか補足いただいた内容も含めてご検討いただければと思imas。
0:38:55	あと最後これはコメントというよりかは37ページの第5図の方ですね、覆土の傾斜の情報を入れていただいておりますので、こちらにつきましては私が入れていただきたかった情報が入っておりますのでこれで問題ありません。
0:39:11	私からは以上となります。
0:39:19	規制庁山田です。引き続きいくつかコメントをしたいと思imas。基本的に理事会以降の審査会合に向けて、あらかじめ
0:39:30	こういったところを注意していきたいということを上げるというふうにご理解いただければと思imas。

0:39:40	まず、資料2-2-2の5ページのところろう2、冒頭で設計対象設備ってこう書かれて、その覆土等こう書かれているんですが、
0:39:51	この中にですね、排水工を追加すべきではないかと思っております排水工等、申しておるのは、不動。
0:40:01	の表面来、流れてきた水を回収して、流す。
0:40:08	おそらく言う事項か何か図面見るとそういう僕わかっていますが、そこについてでございます。と申しますのは、
0:40:16	この手術、
0:40:19	水制服どこがいかに性能を発揮して、それを性能を損なうような、
0:40:30	そういう可能性の事象を抽出をしてそれに対して十分対策をされているということを示すことが重要だろうと思ひまして、そこを中心に見ておりますが、
0:40:43	この排水それほど難しい施設だと思いませんけれども、ここがうまく働かないと、集めた水が側部から廃棄物層に流れ込みであるとか、ないしは覆土の方、
0:40:59	センクツをするとか、そういったことがあるかもしれませんので、この設計、
0:41:05	これも

0:41:06	それなりの重要なものとして理解すべきだろうというのがまず1点でございます。
0:41:15	すみません
0:41:17	コール。
0:41:18	衛藤。
0:41:19	指摘指摘というか、コメントでとずっと順番に申し上げていってよろしいでしょうか。
0:41:26	お願いします。
0:41:28	続きまして、6ページですけれども、
0:41:35	病気等が損傷しない限り放射性物質を漏えいすることはないというふう にこう書かれています。
0:41:41	で、
0:41:43	それに処分ですので、必ずしも水密性のある容器とか、いうことを要求 しているわけではありませんが、そういった性能末、容器を使うという ことであればですねそれはそれでよりよい
0:41:57	性能を
0:42:00	設計をされているということでもいいことだと思うんですが、一方で、こ ちらを添付1-5の説明の中では、事業規則第8条第1、

0:42:11	第2号炉の(1)の廃棄体に相当するもの、佐治
0:42:17	ピット処分で落ちる拍車ですねこれに相当するのではないというふうに扱われていますので、
0:42:24	そうであれば、この用地がどういった点をどういうふうに発表するかということについて、審査の中で説明をしていただく必要があるというふうに思います。
0:42:38	それから、続きまして10ページ11ページのところ、表面遮水、それから、側部低透水層及び最終覆土について、
0:42:49	修復をするという話が書かれています。
0:42:52	これは
0:42:55	保全段階中必要な行為だと思いますけれども、修復をするからには、どういう情報をもって、修復するって判断に至るのか。
0:43:05	ということがありますので、どういうふうに異常というか、正常状態からのずれを検知をするのか、ということは説明が要るか。
0:43:16	続きまして16ページになりますけれども、廃棄の特性に応じた設計の方針を述べられていると思いますのでこれ重要な点だと思います。
0:43:27	まずね少し

0:43:30	書かれている内容、一般的な感じがしまして、もう少し具体性を持って、もう少しだけですね書かれてくるといいかなと思っております。
0:43:41	一つは例えば半日の長い放射性物質といったときにですね、
0:43:46	典型的にその
0:43:48	セシウム 137 が、範囲上十下の方に入るのかは劇が長い方に入るのか、これトレンチ処分に置いての設計の
0:44:01	考え方に関わる場所ですので、そういったところがわかるようにした方がいいんじゃないか。
0:44:07	それから、
0:44:08	本審査で課題となっております 36 のように、伴駆がなくて終着点小さい放射性物質への対応というのはこの方針が書かれておりませんので、
0:44:19	それがちゃんと見える形で書かれる
0:44:23	ことがいいと思っており、
0:44:28	それから、
0:44:29	やや細かいところですが 46 ページ、表面遮水ですね。
0:44:34	この透水性につきまして、10 のマイナス 10 乗メートルパーセクという数字が書かれています。これも小さな値ですけども、

0:44:42	参考文献で載せられているその協会の自主基準を見ますと、10のマイナス11乗メートルパーセクと書かれているように私は見えました。
0:44:55	ですので、この自主基準等ここで設定されている破碎機の関係について、ご説明があればお願いしたいということでございます。
0:45:06	ちょっと48ページに、遮水C、
0:45:10	頭のコウセイソク使用について10が10乗メートルパーセク以下1で、注釈で、施行時点の値というふうに書かれているんですが、
0:45:22	それを確認するという意味では、施行時点しか確認し、しにくいと思いますのでそうかと思いますが、性能期待される期間中にどうであるのかということが鍵であって、
0:45:36	それを施工開始の時点でどういうふうに見るのかという作りだと思しますので、この表現ですね、
0:45:45	瀬古
0:45:48	後の特性は、あったかもわからないかのように読めてしまいますので、H一言説明があると良いかなと思っております。
0:46:00	それから添付の方につきまして添付1-3のところ、弁済等混合度の特性について具志堅されて、結果書かれておりますので、
0:46:11	ここの指定でのご認識の通り、

0:46:16	ベンダー今後の透水特性っていうのは、別の組成であるとか砂との配合率今後大関含水率広報等、いろんな条件によりますので、
0:46:29	それとの関係で、実績に設定してるんだという必要があると思っております。
0:46:35	そこでなんですが、
0:46:40	この
0:46:42	施行時点等で行ってる条件についてですねもう少し
0:46:48	明らかに書いておいていただきたいことがありまして、というのはですね。
0:46:54	ここの、
0:46:55	次のイベントに今後の混合率は、結局幾つにしていたかという。
0:47:01	で、15%混合増の特性と書かれているんですけども、添付3-7ページを、
0:47:10	のヒストグラムをしてみますと、ベント混合率は16.
0:47:15	4ぐらい。
0:47:18	3か4、1とか、
0:47:21	平日16.3ですね。
0:47:24	下がってるんですね。

0:47:25	で、
0:47:28	15%以上になることを目標にして、それ以上で管理をするそれは当然あり得るわけですがけれども、そうしたときに、その他の
0:47:39	特性で15%今後書かれてる特性が、
0:47:44	15%という特性なのか、それとも、
0:47:47	それ以上になるように管理したという特性なのか、ちょっとわからないところがあります。それが、全体としての適正ということの判断にも
0:48:00	影響してくるかと思しますので、そこは立場を明らかにしていただきたいというふうですね。
0:48:07	それと最後、添付2-7のところ、
0:48:15	食う等、
0:48:21	福等からのこの新棟の断面を書かれているんですが、
0:48:29	特に東西方向を簡略化してかモデルを立てられていますけれども、南北方向はどうでしょうかということです。必ずしも解析をする必要があるかどうかというのはご判断いただければいいと思いますが、
0:48:43	日本原電さんの地下水流動の理解ですと、
0:48:51	毎日流れる、地下水の多くの部分は、
0:48:57	その場合に、

0:48:58	降った降雨ではなくて、むしろ何て側ですか、の第1部から海岸方向に溢れてきた水が北側に流れて、
0:49:08	町あたりで東側方向に方向を変えた流れであると、ご主張されてるんだと理解していますけれども、
0:49:18	そうしますと、その時に、
0:49:23	その大地側から流れてきた水が、この埋設施設にどういった
0:49:31	水位で入ってくるのか、それを側部の低透水層がどういうふうを受けとめるのかそれとも、それが不必要な流れなのかということが、
0:49:43	確認をしていく必要があると思いますので、そこの説明もいただければ と思い
0:49:49	以上です。
0:50:00	横関ありがとうございました。まず1点目の方と藤の花Cですけども、
0:50:09	本施設において上透水がどれだけないのかという確認をし、取りかえて実施しております。
0:50:18	その解析の条件については、
0:50:22	添付の2-7、先ほど今ちょっとご指摘ありましたけども、こちらの買い付けまでの断面図に御示した通り、
0:50:31	排水関係の側溝工事特にモデル化し、

0:50:39	入る量を確認しております。
0:50:42	という意味からは、特保の方については、
0:50:47	機能を持たせなくてよいかと考えております。ただ、進捗については、 ちょっと記載がないのでちょっと考えさせていただきたいと思います。
0:51:00	次に、よう聞いについて、技術基準の方に適合しているようにしている のであれば、もうちょっとちゃんと書きなさいという。
0:51:11	宇部等に関しては、ちょっとこの条項だけ形を変えてるので、ちょっ と内容てしまったのでちょっと確認させていただいて
0:51:23	記載の拡充が必要があれば、記載を特徴値、誤解があるような内容であ れば、訂正させていただきたいと思います。
0:51:32	3点目についてですけども、覆土の修復については、
0:51:38	こういったものを取り合いにして、中空きも行うのかというものが、あ るべきでしょうというご指摘と理解しました。
0:51:48	こちらについては、歯科医院について考えさせていただきたいと思って おります。
0:51:58	いえ。
0:51:59	続きまして、藤院長。

0:52:02	埋設する廃棄物規制廃棄物の特性を受け、施設をどういうふうを考えるかという中で、
0:52:10	今の説明した、失礼。
0:52:16	やっぱり一般的な内容であるので、もうちょっと具体的な内容を書くべきだという仕事に対して、
0:52:24	具体的にはセシウムなんか短いとかっていうようなところだけをどうするかってのをちゃんと明確にしてきたということです。
0:52:37	ですので、ちょっと検討させていただきたいと思います。
0:52:41	2便とネットカードの方の増関係ですけども、
0:52:49	統計家が、
0:52:51	9と10のマイナス11乗があるように見えるという中武委員のご指摘だと理解しました。
0:53:00	これについては資料にもう一度をさせていただいて、誤解がないような、ここに、
0:53:07	してあれば、改めさせていただきたいと思います。
0:53:12	クリアに遮水シートをついて、ご指摘をいただきました。
0:53:19	他に示して軽油についてという形で記載しておりますので、それは

0:53:30	清野北井、スルー期間を考えてどういうふうに設定するかっていうのを説明すべきだというふうに、
0:53:38	ご指摘いただいたと、聞き返しましたので、この点について補足が必要し、検討しまして反映したいと思います。
0:53:50	続きまして、ベントナイト部門が一部透水試験ですね、国際については、
0:53:59	スマートベントナイトの効率や締固め度が、
0:54:07	向井によって変わるってということなので、
0:54:10	結局、これについて、
0:54:14	ここに書いている期待としてのっていうのは、15%時点の規制の中で、それとも10%以上のときの傾向なのかっていうのは、明確になってないよという、
0:54:26	ご指摘と理解しましたので、この点について検討して、明確にしていきたい。
0:54:34	最後になりますけども、解析において、東西方向でやっておりますけども、南北方向に対する地殻整理の流動に対してどういうふうに考えているのかっていうのが明確になってないよという目的だと、理解して、
0:54:51	こちらについての報告を、

0:54:55	要はやらなくていいのかっていうのをちょっとチェックすべきなのかな ということを理解しましたので、その方向で検討したいと思います。
0:55:06	説明は以上です。
0:55:09	ありがとうございました。これ、こちら趣旨をご理解いただけたと思 いますのでよろしく願いいたします。
0:55:17	あと1点だけ46ページの統制特性のところこれ、表面遮水と書いてあ る部分ですのでこれも明太子モードではなくて遮水シートの性能に関す るところだと思います。
0:55:31	以上です。
0:55:34	日本原子力発電の江沢です。承知いたしました。
0:55:40	峠規制庁の盛田烈衛藤今後程、別でもう1点確認させていただきたいこ とがあるんですけども、
0:55:48	資料2-2の添付3の添3-10ですね。
0:55:55	こちらでですね、第8図というものが載せていただいている、
0:56:01	このズーがですねまず1点確認なんですけれどもこちらタイトルのとこ ろで、参考文献で(1)とされているんですけどもこれ括弧。
0:56:12	一位で正しいですかねというのが、これは(4)ですね。

0:56:19	(1) が道路、どこ容量になるんですけども、そちらの情報で正しいですか。
0:56:26	というのが1点。
0:56:28	あと、あとですね、
0:56:33	こちらの今回ちょっと受けろ黄色の枠で、ズーがですね少し修正いただいているんですけど丸と三角のところはですね、
0:56:43	受けて書いて注射食うというか凡例を書いていただいているんですけども、
0:56:50	まず1点確認したいのはこの90%と95%っていうものが、ちょっと私これが何を意味しているのかが、あまりちょっとよくわからなかった部分があるので教えていただきたいというところと、
0:57:04	藤当間丸と三角がですね、
0:57:09	これが緑の丸と三角がですね、どちらも同じ20%の、の90%で0から2%っていう、どちらも同じ条件のように見えるんですけども、
0:57:23	こちら、他のものはですね90%と95%が違ったりというところが見えただんですけども、こちらはどういう何が違うのか、結果を見てもですね緑の丸丸と三角は、

0:57:38	ちょっと上があるように見えるんですけどもこれは、32号機なのか、それとも、同じ条件で何か変わったのかっていうところをお聞きしたいってところで、あとこの図についてですねこっちが試験のデータを発出していただいているということなんですけれども、
0:57:57	確認なんですけれどもこちらの青で示してる点ってところがもともとその文献の情報になっていて、この室内試験等施工試験、
0:58:08	ていうところが今回実施していただいた試験の情報を追加したというような認識で間違いないでしょうか。こちらについてお聞かせいただけますでしょうか。
0:58:21	日本原子力発電の新井田です。ご指摘ありがとうございます。
0:58:25	8Eのところ、参考文献の方、
0:58:30	出しておりますけども、こちらについては、適切な文献が呼び出されないような感じになっておりますので、記載のほうに直させていただきますと思います
0:58:43	続きます。
0:58:47	(9) 10%、括弧 95%のところの意味のところについてご質問をいただきました。

0:58:56	これについては、5. まず一番上の赤丸の部分ですけども、こちらを例に挙げますと、こちらについては、
0:59:06	傾向の詰め方2をした場合に、大学見方の時に対しての90%の締固め度というふうな意味での記載になっております。
0:59:19	続きまして、神戸の方の緑丸と大学間での関連の、ちょっと記載が、と同じなんだけどというふうなご指摘をいただきました。
0:59:31	こちらについては、おそらくできた三角の方の記載が適切ではないのかなと考えますので、確認の上、
0:59:43	提案してあれば訂正させていただきたいと考えております。
0:59:47	タイ語にご質問いただきました件ですけども、試験投資弊社の方で実施した試験と参考文献について、どれがどうなのかというご説明をいただきました。
1:00:01	ご説明をいただいた通り、青いひし形ですかね、こちらについては、参考文献の方に掲載されておりますデータという、
1:00:12	上の部分については弊社に実施した知見の低下となっております。
1:00:18	説明としては以上です。

1:00:20	規制庁の盛田です。ご説明いただきありがとうございます。それでは修正がちょっとおかしいかなというところ修正が必要なところについてはご修正いただければと思います。
1:00:32	そうですね確認ですけども 90%95%っていうところは、当間田井の締固めをした時のその締固めのゆるさというか、
1:00:45	強く締め固めているか少しゆるめに仕方でいけるかっていうところで、90%の方が少しゆるめの固め方になってるような認識ということでしょうか。
1:00:58	日本原子力発電の鬼沢です。
1:01:01	イメージとしてはその理解でよろしいと思います。で、方の方の締固め試験を行う場合に、外来の締固めの割合、
1:01:12	決め方面の水が出ますので、プロフィットに対して何割なのかというような意味ですので、今、イメージとしては、今のご説明いただいたイメージでよろしいと思います。
1:01:24	規制庁のモリタ率、理解いたしましたありがとうございます。では修正の方につきましてはよろしく願いいたします。以上です。
1:01:46	規制庁のスゴウです。
1:01:49	と資料 2-2 で他はよろしいでしょうか。

1:01:57	今日、
1:02:00	ちょっと補足といふかなんていふか内野山田から指摘がありました。
1:02:07	半減期の長い放射性物質だとか半減期の短い
1:02:12	をし、短く放射線のエネルギーが多く、放射性物質がっていう話で、
1:02:19	クロールとかセシウムっていう、出てきたんですけど、要は
1:02:25	本施設で埋める廃棄物の、その特徴を踏まえて、
1:02:31	しっかりと、こういうものを埋めるからこういう設計しにするんだって いうその設計の考え方とか設計方針をちょっとしっかりと、
1:02:41	語っていただきたいということなんで、補足として、
1:02:45	よろしくお願いいたします。
1:02:51	日本原子力発電の鬼沢です。
1:02:54	いただいたコメントを理解していただきました。以上です。はい。
1:02:59	規制庁のスゴウです。がよろしければ、
1:03:04	最後ですね資料3ということで、スケジュールを
1:03:10	案をですね、提出いただいています。
1:03:14	衛藤。
1:03:16	このスケジュールについては原電の希望するスケジュールということ で、

1:03:25	我々受けとめましたので、
1:03:28	なんか今この時点でこれについて我々の方から、
1:03:32	ああだこうだ言う。
1:03:34	気はあんまりちょっと正直ないんですけども、
1:03:37	衛藤、もう審査再開敷いてますんで、
1:03:43	衛藤。
1:03:45	資料、今回、一井の、例えば最後とか2、
1:03:50	つけていただいてですね、今後どういうスケジュールで進めたいのかわ ていうのを、
1:03:55	審査会合D網を
1:03:59	説明までは要らないかもしれないんですけど、資料として、
1:04:04	入れた方がいいというか入れて欲しいんですけども、その点いかがで しょうか。
1:04:13	現在のハママツ資料1に反映するという事で理解いたしました。4ポ ツとして新たにスケジュールっていうところで落として
1:04:23	追加したいと思いますけどその理解でよろしかったでしょうか。はい。 規制庁の坪井それで構いません。
1:04:30	現在のハママツですね承知いたしました。はい。

1:04:34	スケジュールについて、
1:04:37	今、
1:04:39	何かコメントとかあります。
1:04:42	よろしいですか。
1:04:44	すいません。
1:04:45	日本原子力発電のコアシです。こちらは少しよろしいでしょうか。
1:04:50	工程につきましては資料1の方に入れるのは承知いたしました。少し今のまま入れてしまうと細かく数字が細かくなってしまうので、少しスライドに合うように要約した形に修正しようかなと思います。
1:05:05	それですわ我々の希望として、各条項の審査会合、ヒアリングの予定というのを入れさせていただいてるんですけど、ただ実際のところこれし、我々、
1:05:17	当初の申請から、繰り返し説明しているところもあって、また設計の変更を踏まえてもあんまりこう変わっていないような情報もあるのかなと考えておりますので、
1:05:29	基本的にはすべての条項についてこういうヒアリング審査会合と言っていた、入れさせていただいたんですけど、できれば、今
1:05:38	可能であればそちら側で考えられている、その論点、

1:05:43	ですとか、
1:05:45	具体的にどういった情報を、今後確認に行きたいのかっていうのが何かあれば、ご意見をいただければなと思うんですけどその辺については何か、今まとまったようなものっていうのは、
1:05:56	ないんでしょうか。できれば我々もこのスケジュールを示す中で、全体概要論点整理の1ポツに書いてるんですけど、どういったところに、例えば先ほど山田さんからいろいろ先を見据えての懸念事項というのを示していただいて、そういった形で示していただけると、
1:06:12	我々も非常に対応しやすいですし、全体を見ても、どういったところが論点になっていて、あとどういったところを議論していくのかっていうのがわかると、我々のスケジュールがより見えやすいのかなと思うんですけど、そういった意味で1ポツに論点整理を含むというのを、
1:06:27	入れさせていただいていて、できればですねここに、
1:06:31	次回の審査会合で論点というものを示していただけるとありがたいなと思ってるんですけどその辺についてはいかがでしょう。規制庁のスゴウです。論点、
1:06:42	論点とまでいえるのかどうかあれなんですけども、少なくとも次回の審査会合で、8月10日に提出いただいた審査資料を我々が見て、

1:06:55	ここもう少し説明して欲しいなあとか言った点は、
1:07:00	審査会合で我々から指摘をする予定にしています。
1:07:06	それを踏まえた上で、スケジュールが変わり得るのかもしれないんですけれども、少なくともこういうことは、その各々の
1:07:17	基準適合性を説明する中でプラスしてちゃんと説明をお願いしたいという事は、伝えるつもりです。
1:07:29	日本原子炉課税のコアシですが承知しましたということで次回そういった論点をご教示いただければ非常に助かりますので、よろしくお願いたします。以上です。規制庁のスゴウで拝承しました。
1:07:41	ほかに全体通じて規制庁側から何かコメントとかありますか。
1:07:48	よろしい。
1:07:51	と、
1:07:51	原電から何かありますか。
1:07:56	、現在のハママツです。原電は特にございません。はい。では以上で本日のヒアリングを終わりにしたいと思います。
1:08:06	ありがとうございました。
1:08:09	ありがとうございました。
1:08:12	次。

1:08:15	ごめんなさい。そうだ。
1:08:17	もしもしいいですか。
1:08:19	はい。お願いします。平井。ごめんなさい。そう、資料の修正ですね、 ちょっと現地フロー言うの忘れてました。衛藤ですね。
1:08:31	ちょっと我々、すいません、水曜日の午後とかから幹部委員に説明と か、ちょっとする必要があつてですね。
1:08:42	今日のコメント対応をできれば、水を午前中までには、ちょっと資料を いただきたいなというのと、
1:08:53	それから、
1:08:56	セット版の方は、
1:08:59	その時点でセット版が遅れる。
1:09:01	送付できるっていうんであればそれに越したことはないんですけど も、
1:09:07	今週中にですね金曜日までには、ちょっとセット版は、提出いただきた いと思っています。
1:09:14	それからそのときには、出席者ですとか数、今回もWebなんで、
1:09:21	関ですね。
1:09:23	についても責任についても、

1:09:26	作っていただければと思います。
1:09:30	よろしいでしょうか。
1:09:33	日本減少勝野コアシです。修正について幾つか
1:09:38	申し上げたいことがございまして、水曜日の午前中と言われたんですけど、実は
1:09:44	中身を修正したところの確認とかそういった点で、非常にある程度時間が必要で、かなり水曜の午前中というのは、例えば今、
1:09:55	コメントされたところの、急いで直せるところを考えても非常に厳しい。
1:10:01	工程なのかなと思ってまして。
1:10:04	例えば木曜日とか、
1:10:07	そのぐらいでは駄目なんだろうかっていうのが一つと、あと審査会合の日というのはもう決まっていて、10月4日になるということで、
1:10:19	よろしいでしょうか。
1:10:20	規制庁の当間で
1:10:23	まず審査会合は、
1:10:25	10月4日です。
1:10:27	で、13時半から15時。

1:10:32	の予定です。
1:10:38	ちょっと
1:10:40	説明時間まで言っちゃうと、できれば資料 1 は 20 分、資料には 15 分ぐ らいで、
1:10:47	説明をお願いできればと。
1:10:49	思ってます。
1:10:51	で、えっとですね、資料の提出につきましては、
1:11:03	資料じた
1:11:06	何でしょう。細かいデータとかの話は自治会ってということなんで、
1:11:13	須佐歩道。
1:11:15	そうなんでしょう追加とかもそんなにない。
1:11:19	かなと思ってのんですけれども。
1:11:23	ちょっとですね
1:11:26	来週ですね総合のプレ訓練とかも入ったりとかしてて、ちょっと幹部の 時間を押さえるのがちょっと早めになってしまったっていうのもあって ですね。
1:11:37	できれば、
1:11:40	次、午前中には、

1:11:42	我々いただきたいんですが、
1:11:49	1名、
1:11:55	ソウマチクだったら、はい。
1:13:01	そ。
1:13:03	2票だけよ。日本原子力発電の小橋です。少し修正するポイントを確認 させていただきたいんですけど、急ぎできるものは水曜日午前中までに というのを頑張りたいと思います。
1:13:16	資料1に関しては、まず20ページのウランの濃度のところは修正をし ます。はい。あと、
1:13:23	廃棄物受け入れたら、
1:13:28	の流れとして目標を考えたような背景の背景を考えているような説明と いうのも、少し対応を考えたいと思います。
1:13:37	あと、
1:13:39	そうですね
1:13:41	資料2のシリーズのほうに、
1:13:44	印象。
1:13:46	安全機能の、そうですね2ページ、6ページの安全機能の考え方につい てもこれも修正を反映したいと思います。はい。ただ、

1:13:54	ちょっと資料2の方の、山田さんからいただいた懸念事項ですとか、す いませんヤマダからですね、伝えたやつは、その次次回の審査会合に向 けての、
1:14:05	お話をですね、ちょっと前提として、確か申し上げたと思うんですけれ ども、
1:14:11	なので、
1:14:14	今言ったところまでぐらいです。
1:14:16	はい、承知しました。なのでそういうことではないかなと思ってるんで すけど。
1:14:21	大至急対応したいと思います。
1:14:24	次お願いします。
1:14:26	よろしいですかね。
1:14:28	はい。
1:14:30	現在頑張ってる承知いたします。はい。
1:14:33	それでは、以上をもちまして、ヒアリングを終わりにしたいと思います す。
1:14:40	ありがとうございました。
1:14:43	ありがとうございました。

